

平成 30 年度第 2 回千葉県医師会・千葉県獣医師会合同セミナー

テーマ：人と動物の臨床分野における再生医療の現状と展望

近年、人並びに動物の臨床分野において再生医療への取り組みが進んでいる。そこで、医師会並びに獣医師会の会員を対象として、その現状と展望について、それぞれの分野における専門家を招いて研修する。

日 時：平成 30 年 8 月 19 日 13 時 30 分から 17 時

場 所：ホテルポートプラザらば

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 8-5 TEL：043-247-7211

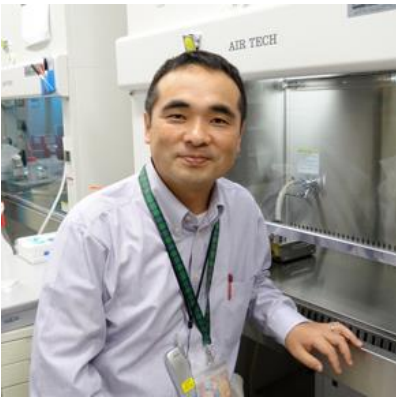
アクセス：JR 京葉線・千葉都市モノレール「千葉みなと駅」市役所側口、徒歩 1 分

演 題：

1. 再生医療の現状とその先 ～進展する幹細胞研究から見えてくるもの～ 70 分

阿久津 英憲 先生（国立成育医療研究センター研究所）

（プロフィール）



1968 年、福島県南会津の生まれ。95 年に弘前大学医学部を卒業し、福島県立医科大学産婦人科に入局。99 年から 2 年間半、ハワイ大学医学部柳町隆造研究室研究員。2002 年、福島県立医科大学で博士号を取得し、産婦人科助手になる。同年秋、米国国立老化研究所遺伝学研究室研究員として再渡米し、04 年からハーバード大学分子細胞生物学部研究員。05 年、国立成育医療研究センター研究所室長

阿久津先生は日本で 2 番目にヒト ES 細胞を樹立した生殖発生学の研究者。臨床が眼前にある国立成育医療研究センター研究所で、安全に医療応用するための ES 細胞をつくり育てる研究を続ける。

2. 獣医師が行う再生医療 ～現状と将来展望～ 70 分

鳩谷 晋吾 先生（大阪府府立大学）

（プロフィール）



2006 年 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科博士課程獣医学専攻修了 博士（獣医学）

2006 年～2007 年 まつおか動物病院（大阪）勤務獣医師

2007 年 大阪府立大学 生命環境科学研究科 助教

2014 年 大阪府立大学 生命環境科学研究科 准教授

現在、獣医師として大阪府立大学獣医臨床センターで高度診療を行いつつ、動物で再生医療を普及させるため、犬や猫の幹細胞研究に取り組んでいる。イヌおよびネコにおける再生獣医療を実現するための ES 細胞の樹立イヌとネコにおける体外受精技術の開発小動物の血液疾患における診断・治療法の開発研究を続ける。

3. 再生医療実用化の現場から ～獣医療分野からの視点～ 30 分

久保 雄昭 先生（セルトラスト・アニマル・

セラピューティクス株式会社）

（プロフィール）



兵庫県神戸市出身。2002 年神戸大学大学院 自然科学研究科において博士（理学）取得。

ワシントン大学生物学部研究員、日本学術振興会特別研究員、京都大学研究員、株式会社 J-ARM 研究開発部勤務を経て、現在はセルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社細胞培養開発部門 部門長。

分子遺伝学・細胞生物学が専門。現在は獣医療において脂肪組織由来間葉系幹細胞、骨髄幹細胞を用いた基礎研究及び臨床研究を行なう。